

▼東北

宮城県角田市を遊歩・歩こう会

八巻 健(TBC)

歩こう会は、福島県甲子高原に発する阿武隈川が悠然と北流する宮城県角田市(かくだし)を歩いてきました。

時は令和6年5月16日。前日までの青空を隠した濃霧を前に参加者11名は駅舎をバックに集合写真を撮ると、H2ロケット実物大模型が天を衝く台山公園を目指して出発しました。



角田駅前全員集合！

同模型は全長49m、直径4mと言われ、近づいて見上げると、その巨大さに改めて驚きました。そこで、ロケット模型の隣に立つスペースタワーの最も高い45m迄エレベーターで上がりました。見えたのは、隣のH2ロケット実物大模型とごく近場だけ。他の景色は濃霧に包まれていたのです。



H2ロケット実物大模型の前で

次に靴を脱いだのは郷土資料館です。明治初年から大正年間にかけて郷土の旧大地主が建築した豪華なつくりの純和風邸宅で、昭和60年に角田市が譲り受けて郷土資料館に整備の由。豪華なつくりが目をくぎ付けにしました。

阿武隈川の流下音を耳に、残雪光る蔵王連峰遠望の遊歩イメージだったので、濃霧に阻まれた遊歩デシタ。

地元めしと地酒を楽しむ会

庄司 精一(OX)

仙台では夜の街・国分町に陰りが見えている。コロナに加え仙台駅東口の再開発で若者を中心に人の流れが駅周辺へと大きくシフトしている。

旅・グルメ同好会の春の企画は「地元めしと地酒を楽しむ会」。会場は国分町に賑わいを取り戻そうと考える有志が、その起爆剤に去年の10月にオープンした地産地消にこだわったお店「仙臺テラス」。



仙臺テラスに集った旅・グルメ同好会の皆さん

お料理7品、飲み放題2時間で6千円のコース。飲み物はビール、

焼酎、宮城のクラフトジンと多彩。日本酒は地元の名酒10銘柄が用意されていた。

石巻港に揚がったマグロのお刺し身、浜直送の生ガキ、宮城サーモンの焼き物、仙台牛のローストビーフとこだわりの料理が続き、ベは春セリとあぶら麩を卵でとじたお鍋。春セリの鍋は珍しい。現役時代は国分町に通ったお歴々、美味しい酒と料理で思い出話に花が咲いた。

時代が変われば街も変わる。キヤバクラがひしめき高級クラブが多い国分町は「若者の街」ではないのだろう。



石巻市雄勝から直送の生牡蠣